

③5 とっとり青少年起業クラブ (米子市)

中高生など10〜20代の若者がビジネスの基本を学び、自分たちの力でイベントなどを開くことで、アイデアを形にする力や社会で生きていく力、社会を良くする力を育む。

2024年に発足し、現在は米子市と南部町に拠点を持つ。米子市では中学生〜大学生が約10人、南部町では中学生6人が活動している。鳥取県公民連携推進事業補助金を活用して事業を実施しており、放課後のクラブ活動のように月に1



起業体験で生きる力を育む

販売利益で図書館に本を寄贈した小学生ら＝3月8日、米子市立図書館



〜4回ほど集まり、ビジネスの勉強会や事業企画などを行っている。県内各所に出張し、セミナーやワークショップも開いている。

今年7、8月には米子市の土曜夜市や米子がいな祭にも参加し、クラブの中学生らがゲームを交えたジュ

ースの屋台を出店した。2月に行われた小学生対象の「こども社長クラブワークショップ」では、小学生がドリンクなどを売り販売活動を体験。得られた利益で同市立図書館に本を寄贈した。

創業者で、大学生の時に行政書士事務所を開業した後藤秀一さん(46)は、経営を教えてくれる人や20代で開業している人が周りにおらず、心細い思いをした経験を踏まえ「起業の才能を埋もれさせないために、早期から起業的思考に触れさせることが必要」と話す。

「中高生や大学生の生きる力を育むだけではなく、地元愛が芽生え、地元に残ることにもつながる。参加者や拠点を県内全域に広げていきたい」と活動の拡大に力を込める。